

日高アドベンチャーキャンプ

趣旨 2泊3日の自然体験キャンプを通して、仲間との人間関係を深めるとともに、困難な状況に直面してもそれをしっかりと受け止めて乗り越えていく心身を養う。

ポイント 各グループに学生スタッフを2名配置し、子どもたちの活動における目標設定や振り返りの支援を行うとともに、子どもたちに協議や意思決定の機会を多く与えることで、子どもたち自身が主体的・協働的に活動に取り組めるよう配慮した。

期 日：令和4年1月8日（土）～10日（月）

会 場：国立日高青少年自然の家

対 象：小学校4年生～6年生

人 数：14名

ボランティア：7名（北海道教育大学岩見沢校）



プログラム

【1月8日（土）】

①グループ作り（GS・IB・CC）②薪割り・火おこし・炊事（CC・IT）③たき火（RF）④休息・就寝（RF・SC）

【1月9日（日）】

⑤炊事（CC・IT）⑥スノーシューハイク（GC・SC）⑦炊事（SC・RF）⑧たき火（RF・CC）⑨就寝（RF・SC）

【1月10日（月）】

⑩炊事（CC・IT）⑪撤収（GC）⑫振り返り（RF）

※GS：ゴールセッティング、IB：アイスブレイク、CC：コミュニケーション、IT：インシアティブ

RF：振り返り、GC：グループチャレンジ、SC：ソロチャレンジ



目標設定と振り返り



野外炊事



山小屋での昼食

【成果】

- ・保護者からは「一人っ子な事もあり、甘えっ子のため、無事に3日間過ごせるか不安だったが、一回り大きく自信を付けて帰ってきた」との声があり、2泊3日の活動を通じた子どもの心の成長がうかがえた。
- ・参加者からは「自分も意見を言うのが苦手なのと一緒に、誰にでも苦手なことがあるから、そこに気づき、助け合うことが大事だとわかった」との声が寄せられた。

【課題】

- ・目標設定や振り返りの項目が多く、振り返りの時間が作業に追われる展開となってしまったため、項目を精選し、目標の考え方を統一することでゆとりのある振り返りの時間を確保する。